



2022年10月28日

各位

会社名 兼松エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 渡辺 亮
(コード番号: 8096 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画室長 梶原亮洋
(TEL: 03 - 5250 - 6821)

連結業績予想の修正および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

2022年4月28日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社は、2022年10月28日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2023年3月期通期連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円銭)
前回発表予想(A)	72,000	12,750	12,800	8,600	300.58
今回発表予想(B)	77,000	13,400	13,500	9,100	318.00
増減額(B - A)	5,000	650	700	500	
増減率(%)	6.9	5.1	5.5	5.8	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期通期)	71,331	12,687	12,784	8,785	307.07

(2) 公表の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、製造業向けのサーバー関連事業やクラウドサービス関連事業が堅調に推移したことなどにより、期初予想を大幅に上回り、中間期における過去最高業績を更新する結果となりました。

当連結会計年度における通期連結業績予想につきましては、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の持分法適用会社化が収益に寄与すると同時に、のれんの償却費が発生するため、持分法投資損失の計上による利益減が見込まれる一方で、懸念材料であった供給面の制約による納期遅延は改善傾向にあることに加え、足元の商談状況は好調に推移していることから、当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案した結果、期初予想を上回る見通しとなりましたので、上記の通り修正することといたしました。

なお、上記予想は、現時点で入手可能な情報および一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の動向等、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 剰余金の配当（中間配当）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年4月28日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	80円	75円	75円
配当金の総額	2,289百万円		2,145百万円
効力発生日	2022年12月1日		2021年12月1日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 理由

株主の皆様への利益還元につきましては、中長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針とし、現行中期経営計画の数値目標の一つとしても「配当性向50%以上」を掲げております。

中間配当金につきましては、上記方針および当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、1株当たり80円とすることといたしました。

期末配当金については2022年4月28日公表の予想値（80円）について変更ありません。

3. ご参考（2023年3月期年間配当の内訳）

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年4月28日公表)	75	80	155
配当予想		80	160
当期実績(2023年3月期)	80		
前期実績(2022年3月期)	75	80	155

以上